

The Sinfonietta ザ・シンフォニエッタ 第38回演奏会 38th Concert



© Ayane Shindo

指揮 竹内 健人



ソリスト・チェロ
原田 哲男

2026年 6月7日 (日)

熊本県立劇場コンサートホール

開場13:45 開演14:30

ゲストコンサートミストレス 船津 真美子

モーツァルト／歌劇「魔笛」序曲 K.620
シューベルト／交響曲第7番「未完成」ロ短調 D759
ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 OP.104



【入場料】 一般1,500円(当日1,800円) 学生1,000円(当日1,300円) 全席自由

【チケット販売】 有明楽器・大谷楽器・かわせ楽器・熊日プレイガイド(びぶれす6階)
熊本県立劇場・古城楽器・西野楽器店

主催: ザ・シンフォニエッタ

後援: 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本日日新聞社 RKK TKU KKT KAB FM791 FMK

お問い合わせ 090-2584-3718 (高橋) 公式ホームページ <http://www.the-sinfonietta.org/>

※4歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

(小さなお子様のご鑑賞は他のお客様のご迷惑にならないようご配慮ください。親子室もございますのでご相談ください。)



© Ayane Shindo

指揮 竹内 健人 *Kento Takeuchi*

福岡県北九州市出身。

4歳からピアノ、10歳からサクソフォンを始める。

洗足学園音楽大学音楽学部サクソフォン専攻を卒業後、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。

これまでに、ブルーアイランド版「こうもり」「ヘンゼルとグレーテル」指揮者。

2025年には萩尾望都原作青島広志作曲オペラ「半神」では世界初演の指揮も務める。

2024年日本サクソフォンフェスティバルにて、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団と共演。日本初のプロサクソフォンオーケストラ、東京サクソフォンオーケストラの常任指揮者を務め、全五回の定期演奏会他、東名阪ツアーも成功に導く。

北九州グランフィルハーモニー管弦楽団、響ホール室内合奏団、筑豊フィルハーモニー管弦楽団、北九州交響楽団、北九州ジュニアオーケストラなど、福岡のプロ、アマチュア団体の客演も多く好評を博している。尾高忠明、ジョルト・ナジ、ラースロー・ティハニ、ダグラス・ボストックの各氏のマスタークラスを複数回にわたって受講。ピアノを上岡由美子、鳥羽瀬宗一郎、吉武優の各氏に、サクソフォンを江口紀子、池上政人、須川展也の各氏に、指揮を川本統脩、黒岩英臣、山下一史、高関健の各氏に師事。



ソリスト・チェロ 原田 哲男 *Tetsuo Harada*

鹿児島市出身。桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。

同大学卒業後、ドイツのマインツ大学音楽学部、米国ダラス市の南メソヂスト大学へ留学。

1999年から2012年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務めた。2001年第4回ビバホールチェロコンクール3位。仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団で「松尾音楽助成賞」受賞、また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。

2007年文化庁海外派遣研修員としてドイツに留学し、クリスティアン・ギガー氏（ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト）に師事。

2013年から2016年まで九州交響楽団首席チェロ奏者を務めた。

現在は福岡市を拠点にフリーのチェロ奏者として、ソロ、室内楽、後進の等活動し、九州各都市で主催の「原田哲男チェロコンサート」は2026年7月に26回目を迎える。

管弦楽 ザ・シンフォニエッタ *The Sinfonietta*

1986年に結成されたアマチュア・オーケストラ。ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派の曲を中心としながら、ロマン派、近代の曲なども演奏している。アンサンブルを楽しむため、小編成の特性を活かした選曲を行い、時間をかけた丁寧な音楽作りを目指している。これまでに共演した主な音楽家は、指揮者では本名徹二、山下一史、藤崎凡、久保田悠太香、松元宏康、中井章徳、竹内健人などの各氏、ソリストでは安永徹（Vn）、篠崎史紀（Vn）、O. ボルヴィツキー（Vc）、若林顕（Pf）、合志知子（Pf）、吉田秀晃（Pf）、青柳晋（Pf）、鈴木理恵子（Vn）、藤森亮一（Vc）、龍野しずく（Vc）、田尻大喜（Tp）、柴田恵奈（Vn）、大村友樹（Fl）などの各氏で、素晴らしい指導者・共演者に恵まれ充実した活動をしている。2011年に若林顕氏の弾き振りでピアノ協奏曲3曲を一夜で演奏。2012年には、山下一史氏指揮のもと、歌劇「カルメン」の演奏会形式に挑戦して好評を得た。2017年には、ソリストに日本を代表するヴァイオリニストの鈴木理恵子氏とNHK交響楽団首席チェリスト藤森亮一氏を招き、ブラームスのドッペルコンチェルトを共演。2025年6月には、楽団結成当初から交流のある篠崎史紀氏をソリスト、コンサートマスターに迎え、指揮者なしの演奏を披露した。